

★PCでの閲覧をおすすめします(スマートフォンでもご覧いただけます)

# わかりやすい ABDA 理論の解説

(ABDA: 4コマの意味のある連続場面をベースにした対話方略)

© H. Kidoguchi, 2025 ▶ 著者紹介

英語は習っているのに英語が出てこない！  
「言いたいこと」があるのに、自分の考えが伝えられない！

その原因は、語彙や文法、教え方ではなく、**思考の組み立て方**にあります。ABDA 理論は、この問題を解決するために生まれた、認知科学に基づく全く新しい英語学習システムです。

## ABDA 理論とは何か？

### ① 4コマで楽しく思考が深まる

イラストで描かれた人物たちが、連続4コマの中で対話します。  
(自然に議論が深まる構造になっています: **音声付き**)

### ② イメージから言葉が生まれる

人物の「言いたいこと」は、吹き出しの中の**素朴な絵**で表現されます。  
(暗記ではなく、**イメージ**から言葉が引き出されます)

### ③ 1つの教材(話題)を3ステップで使う

4コマのイラストは【聞く → 話す → 分析】と繰り返し使われます。  
< (**理解**)、(**運用**)、そして(**定着**)が一体化します >

### ④ 3レベルで自然に伸びる

同じ4コマを、初級・中級・上級の3段階で**内容を深め**ます。  
(無理なく、表現力と論理性が高まります)

### ⑤ 15話で思考力を育てる

全15話は、**段階的**に内容が深まる構成です。  
(「道案内」・「遅刻」から「戦争」・「カッコいいとは何か」までを扱います)

### ⑥ ストーリーを楽しみながら記憶が定着する

全15話は、家族6人が経験する**多彩な物語**として展開されます。  
(学習者は家族各6名の対話の**再現・経験**で、英語表現の記憶が強化されます)

ABDA 理論は、**①～⑥**すべて、認知科学に基づき設計された、一貫した学習システムです。

(さらに全体像に興味のある方は、ホームページの**学術版**、**サンプル**をご覧ください)